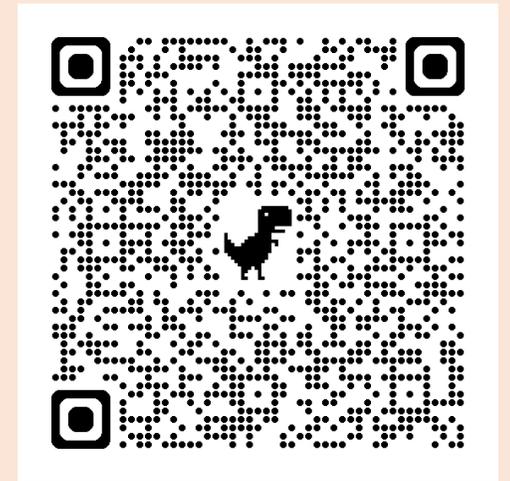


多摩川上水緑の会
サイトの
QRコード



このスライドの
QRコード
(PDF約25MB) ダウン
ロードに時間がかかります

万葉植物の宝庫 武蔵野玉川上水の花とみどり

運営委員 夜久竹夫

2024年10月26・27日、武蔵野市桜堤コミュニティセンター

要約

武蔵野玉川上水万葉生物回廊



桜堤コミセン

玉川上水

井の頭公園

komoot地図使用

万葉集記載の植物：約140種。
左の回廊周辺：その内約120種。
120種の写真と万葉集和歌の対比
春夏秋冬順

回廊(桜堤コミセンスタート)
スタート：桜堤コミセン
→ 玉川上水
→ ①井の頭公園
→ 吉祥寺通り → 千川上水
→ 境橋、仙川
→ ゴール：桜堤コミセン

参考資料

1. 国分寺市教育委員会編、国分寺市の万葉植物、国分寺市教委、平成4.
2. 片岡寧豊、万葉の花、青幻舎、2020、175p.
3. たのしい万葉集：万葉集の草花, <http://art-tags.net/manyo/flower/>
4. 万葉集の植物, <http://www3.kcn.ne.jp/~kato/nature/mans.html>
5. はじめての万葉集/奈良県公式HP、<http://www.pref.nara.jp>
6. 夜久学館ホームページ, <http://www.yaku.org>

このスライドの一部は次で上映された

夜久竹夫他、玉川上水のみどり、桜堤コミセン2024文化祭、2024年10月、武蔵野市桜堤コミュニティセンター。

夜久竹夫他、万葉植物の宝庫武蔵野玉川上水の緑、武蔵野玉川上水緑の会上映会、2024年5月11日、武蔵野市西部コミュニティセンター。

協力 玉川上水緑の会、けやきねっと

このスライドは CC BY-NC-ND の元で利用可能

目次

1. はじめに	...	1
2. 春の万葉植物 約22種	...	9
3. 夏の万葉植物 約37種	...	32
4. 秋の万葉植物 約34種	...	74
5. 冬の万葉植物 約16種	...	110
6. 探索中の万葉植物 5種	...	129
7. おわりに	...	134

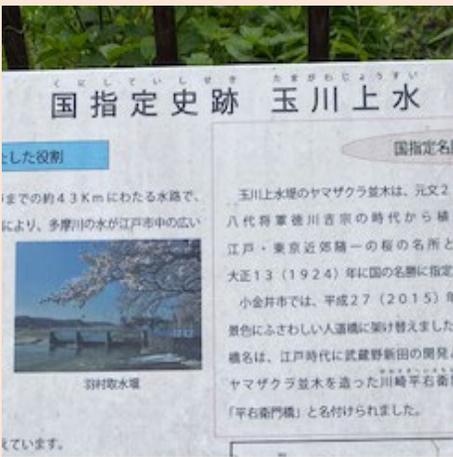
全部で134ページ、1ページ当たり基本15秒上映、**上映時間約40分**

1. はじめに 桜堤周辺の環境

地図 ©2023 Google

桜堤周辺: 下のような河川と用水路跡あり

除草作業と外来種に押されて減ってはいますが、桜堤周辺の緑地には万葉集で詠まれた草花が多く残る

			
<p>国史跡 玉川上水 羽村～新宿</p>	<p>国名勝 小金井桜 小金井橋～境橋</p>	<p>武蔵野市 桜堤遊歩道 境村分水跡</p>	<p>一級河川 仙川 小金井～世田谷</p>

万葉集に詠まれた植物

万葉集には150種以上（諸説あり）の植物が詠まれています。

そのうち玉川上水と桜堤周辺に自生している約120種を紹介します。

植物の**色形**と**香り**、風にそよぐ**音**と**動きのリズム**は万葉時代と変わらないので、植物を見ながら歌を詠むと伝統的な感覚がよみがえります。

その感覚を体感しましょう！

季節(旧暦)別の植物

万葉集に従い旧暦の季節で別ける。
万葉名と現代名は異なることが多い。参考資料の説に従い、諸説ある場合は著者の判断により、名称が似ている現代名を選ぶ。

春の草花の例
(旧暦1-3月)



夏の草花の例
(旧暦4-7月)



秋の草花の例
(旧暦8-10月)



冬の草花の例
(旧暦10-12月)



凡例

背景色は季節を表す：

緑→春、黄→夏、茶→秋、青→冬

現代名

説明

画像

撮影情報

ひらがな万葉名 万葉表記

巻号- 歌番号 作者：

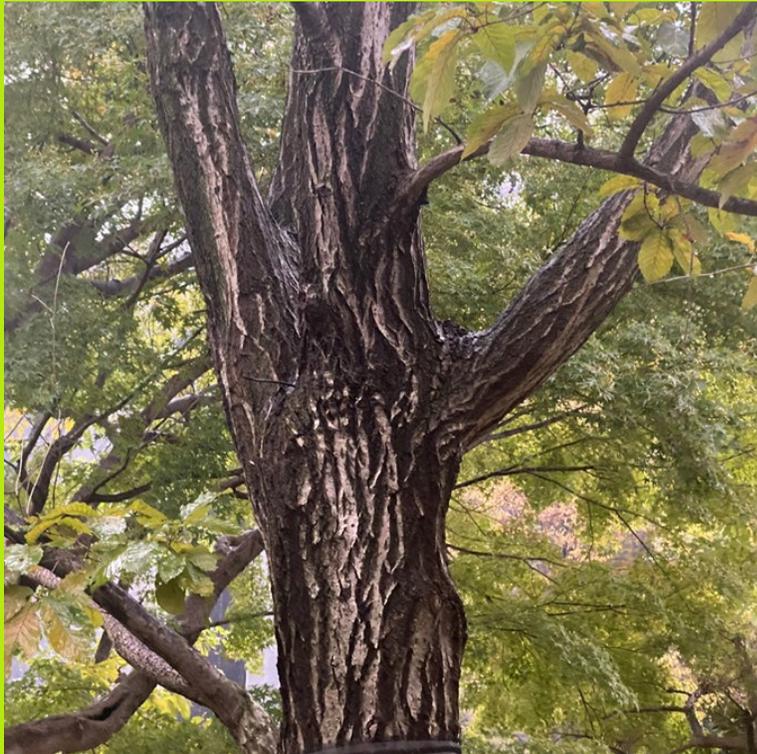
歌本文訓読み
赤字は植物名
青字は強調箇所
(著者彩色)

2. 春の万葉植物(旧暦1月-3月)

現代名 コナラ 小櫛

こなら 許奈良

卷14-3424 作者不明



2023年11月10日 桜堤遊歩道

下つ毛野
みかもの山の
許奈良のす
まぐはし子ろは
誰(た)が笥(け)か持
たむ

現代名 ワラビ 蕨
山菜



2023年11月16日 玉川上水梶野橋

わらび 和良妣 一首

卷8-1418 志貴皇子:

石劇(いはばしる)
垂水の上の
さ 和良妣(わらび)
の
萌え出づる春に
なりにけるかも

現代名 カシ 櫨

かし 可新

万葉集 卷1-0009 額田王 :



静まりし
浦浪さわく
吾が背子が
いまたせりけむ
巖(いつ)可新が本(も
と)

2023年12月12日撮影 梶野橋周辺

ヤナギ 柳
川べり 街路樹



柳橋にあった。

画像は2023年12月23日 吉祥寺通り

やなぎ 柳

卷10-1819 作者不明

うちなびく
春立ちぬらし
我が門の
柳乃末(うれ)に
鶯鳴きつ

春菜は春の菜の総称

画像はフキ



2020年2月19日撮影 玉川上水周辺

はるな 春菜

卷8-1427 山部赤人:

明日よりは
春菜摘まむと
標めし野に
昨日も今日も
雪は降りつつ

うめ 梅

卷5-0815 紀男子：

むつき立ち

春の来たらば

かくしこそ

梅を招(き)きつつ

楽しき終へぬ

「大貳紀卿」

現代名 ウメ 梅

中国原産、中華民国国花、
南京、武漢等の市花



2020年3月16日撮影 小金井公園

スミレ 堇
山菜、種子と根茎に毒あり

すみれ 須美礼

卷8-1424 山部赤人：



春の野に
堇摘みにと
来し吾ぞ
野を懐かしみ
一夜寝にける

地図 ©2023 Google

2020年3月22日撮影 玉川上水

ツボスミレ 壺堇

色の名前にもなっている



つぼすみれ 都保須美礼

万葉集 卷8-1444 高田女王

山吹の
咲きたる野辺(のへ)の
都保須美礼
この春の雨に
盛りなりけり

2023年3月27日 桜堤水辺公園

アセビ 馬酔木

をし 鴛鴦 : おしどり



2021年3月30日 玉川上水土手

あしび 安之婢

万葉集 20-4511 三形王 :

をしの住む
君がこのしま
今日見れば
安之婢(あしび)の
花も
咲きにけるかも

ヤマブキ 山吹

やまぶき 山吹

万葉集 卷8-1435 厚見王：



かはづ鳴く
神奈備川に
影見えて
今が咲くらむ
山吹の花

2021年3月30日撮影 玉川上水新橋西側

サクラ 桜

さくら 桜

卷20-4361 大伴家持：



桜花
今盛りなり
難波の海
押し照る宮に
聞こしめすなへ

2020年4月2日撮影 小金井公園の大島桜

現代名 シャガ 射干
説有り



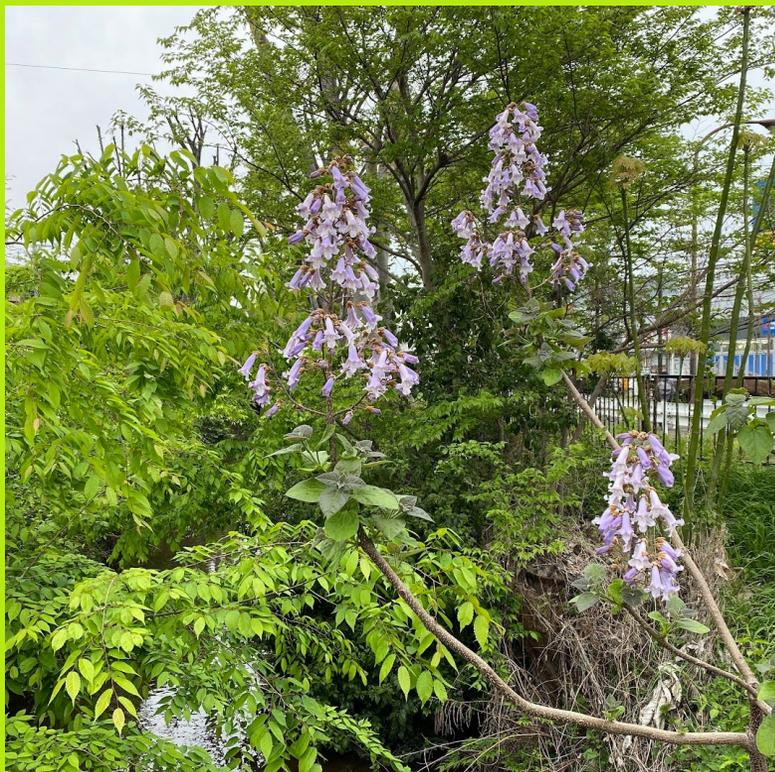
はなかつみ 花勝見

卷4-0675 中臣女郎(いらつめ):

をみなえし
佐紀(さき)沢に生る
花勝見
かつても知らぬ
恋もするかも

2021年4月17日 玉川上水土手

現代名 キリ 桐 アオキリ



2022年4月21日 境橋

ごどう 悟桐

卷5-810 大伴旅人

序文

大伴淡等

慎みて壮す

悟桐の日本琴

一面……

ツルマメ全般
画像はカラスノエンドウ



2022年4月23日 陣屋橋付近

まめ 麻米

卷20-4352 丈部(はせつかべの)鳥

道の辺(へ)の
蒔(うまら)のうれに
延(は)ほ麻米の
からまる君を
あかれか行かむ

ヤマクワ 山桑

にいぐは：桑の新芽



2020年7月23日撮影 玉川上水土手

くは 桑、具波

卷14-3350 作者不詳：

筑波嶺の
にいぐはは繭の
衣(きぬ)はあれど
君が御衣(みけし)
し
あやに着欲しも

現代名 オオムギ 大麦

むぎ 麦

卷12-3096 作者不詳:



馬柵(ませ)越(こ)しに
麦(むぎ)食(た)む駒(こま)の
罵(の)らゆれど
猶(なほ)し恋(こ)しく
思(おも)ひかねつも

2022年4月23日撮影 玉川上水曙橋

現代名 アブラナ 油菜
油菜一般、油科総称



2020年4月25日撮影 玉川上水

くくたち 茎立

卷14-3406 東歌(上野の国):

上野(かみつけ)の
佐野の茎立(くく
たち)
折りはやし
我は待たむ急
今年来ずとも

ツツジ 躑躅

東アジア原産



2022年4月28日 曙橋付近

つつじ 管自

卷9 -1694 柿本人麻呂

栲嶺中(たくひれの)
鷺坂山の
白(しら)管自(つつ
じ)
われにほはね
妹に示さむ

チガヤ 茅萱



2023年5月2日 境橋

あさぢ 浅茅 (つばな)

卷 3-333 大伴旅人

浅茅原

つばらつばらに
もの思(も)へば
古(ふ)りにし里し
思ほゆるかも

現代 ヤブツバキ
(通称 ツバキ) 椿



2020年5月7日撮影 上水新橋付近

つばき 椿 都婆吉

卷1-0056 春日蔵首老(おゆ)

河上の
つらつら椿
つらつらに
見れども飽かず
巨勢の春野は

現代名 ノイバラ 野茨

薬草



2021年5月10日 境橋

うまら 宇万良

卷20-4352 丈部鳥：

道の辺の
宇万良のうれに
延ほ豆の
からまる君を
はかれか行かむ

現代名 シラン 紫蘭



2023年5月12日 桜堤遊歩道

けい 蕙

卷17-3967 大伴池主

(序文)
豈(あに)慮(はか)り
きや
蘭蕙(けい)叢を隔
て、
琴樽用(つか)はるる
こと
蕙(けい)むと...

3. 夏の万葉植物(旧暦4月-6月)

スイカズラ説有り

蜜をすったため、す
いばな



2021.5.10 もみじ橋付近

たまかづら 玉葛

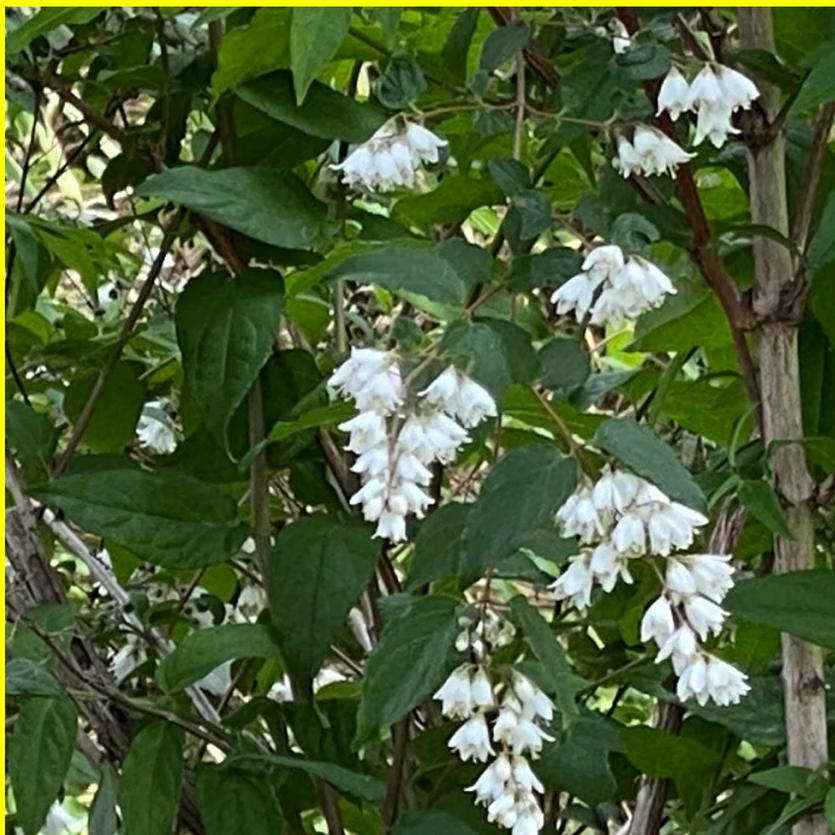
巻2-0101 作者: 大伴安麻呂

玉葛
実ならぬ木には
ちはやぶる
神ぞつくといふ
ならぬ木といふ

現代名 ウツギ、ヒメウツギ
空木

うのはな 卵の花

卷8-1472 石上堅魚



霍公鳥（ほととぎす）
来鳴き響もす
卵の花の
共にや来しと
問はましものさ

2021年5月10日撮影 くぬぎ橋付近

現代名 エゴノキ
別名 萵苣(チシャ) 毒



ちさ 萵苣

卷11-2469 柿本人麻呂

山萵苣(ちさ)の
白露重み
うらぶれて
心も深く
我が恋やまず

2021年5月10日 くぬぎ橋付近

現代名 ノビル 野蒜

ひる 蒜

卷16-3829 長忌吉麻呂(ながのおきまろ)



醬酢(ひしおす)に
蒜(ひる)に撞(つ)きか
てて
鯛願う
我れにな見えそ
水葱(なぎ)の羹(あつ
もの)

2022年6月1日 玉川上水土手

現代名 ネジバナ 捩じ花
説有り、翁草説も

ねっこぐさ 根都古具佐

卷14卷-3508



芝付の
御宇良崎なる
根都古具佐
あひ見ずあら
ば
吾恋ひめやも

2024年6月13日 桜堤公園

地図 ©2023 Google

ネジバナ

振じ花 説有り、
翁草説も



2024. 6.13 桜堤公園

ねつこぐさ 根都古草

卷14- 3508 作者:不明

しばしきの
みうら崎なる
ねつこ草
相見ずあれば
我れ恋ひめやも

ヤマモモ

中国原産



2024.6. 13 関前公園付近

もも 桃

巻7- 1356 作者:不明

向つ峰に
立てる桃の木
ならめやと
人ぞささやく
汝が心ゆめ

現代表記 オミナエシ

秋の七草



2021年6月24日 小金井橋東側

をみなへし 女郎花

10-2115 作者不明

散らまく惜しも
この白露に
女郎花
袖さへにほふ
手に取れば

アワ 粟

画像はエノコログサ (粟
の原種) (食用可)を表示



2020年7月14日撮影 玉川上水周辺

あわ 粟

巻14-3364 作者不詳 :

足柄の
箱根の山に
粟蒔きて
実とはなれるを
粟なくもあやし

ヒルガオ 昼顔

かほばな 容花

万葉集 卷8-1630 大伴家持：



高円の
野辺の容花
面影に
見えつつ妹は
忘れかねつ

2020年7月14日撮影 玉川上水周辺

ヤブラン 藪蘭
説有り



やますげ 山菅

万葉集 卷11-2456 柿本人麻呂：

ぬばたまの
黒髪山の
山菅に
小雨降りしき
しくしく思ほゆ

2020年7月18日撮影 仙川遊歩道

カンゾウ 萱草



2020年7月19日撮影 玉川上水周辺

わすれぐさ 忘れ草

卷11-2475 柿本人麻呂歌集

我がやどは
薨しだ草
生ひたれど
恋忘れ草
見るにいまだ生ひず

ユズリハ 楫

ゆづるは **弓弦葉**

卷18-0111 弓削皇子(ゆげのみこ):

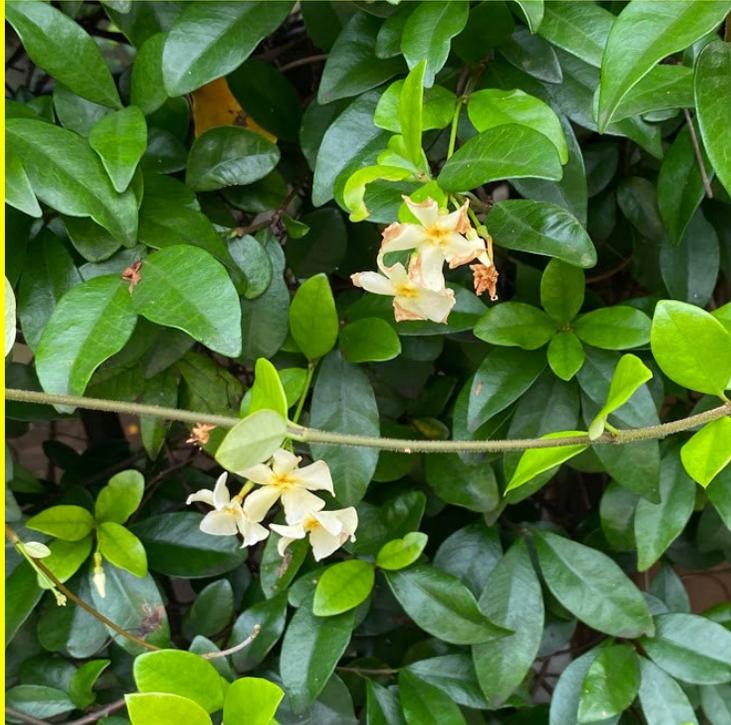


いにしへに
恋ふる鳥かも
弓弦葉の
御井の上より
鳴き渡り行く

2020年7月20日撮影 曙公園

ツタ類一般

画像はテイカカズラ 定家葛
名は藤原定家に由来



2020年7月20日撮影 仙川沿い

つな 綱

巻6-1046 作者不詳 :

岩綱の
またをちかへり
あきによし
奈良の都を
またも見むかも

現代名 コウゾ 楮

ゆふ木綿

卷6-909笠金村 吉野賛歌:



2020年7月20日撮影 曙橋

山高み
白木綿(ゆふ)花に
おちたぎつ
瀧の河内は
見れど飽かむも

ハハコグサ 説有

春の七草の御形



2020年7月20日 玉川上水周辺

にこぐさ 和草

卷11-2762 作者不詳

葦垣の
中の和草(にこぐさ)
にこやかに
我れと笑(え)まして
人に知らゆな

ヨモギ 蓬

蓬餅とモグサの素:



2020年7月20日撮影 曙公園

よもぎ 余母疑

卷18-4116 大伴家持:

大君の
任(ま)きのまにまに
取り持ちて
仕ふる国の…
あやめぐさ
余母疑かづらき
酒みづき…
(長歌)

現代名 コケ 苔:



こけ 蘿

万葉集 卷6-0962 葛井広成 :

奥山の
岩に苔生し
畏くも
問ひたまふかも
思ひあへなくに

2020年7月20日撮影 桜堤水辺公園

ヒオウギ 檜扇

ぬばたまは本種の実

万葉集 卷6-0925 山部赤人：



ぬばたまの
夜のふけゆれば
久木生ふる
清き川原に
千鳥しば鳴く

2020年7月20日撮影 仙川周辺
この画像は花の裏側。表に黒ごまあり。

現代 ツル性植物一般の美称
画像はテイカカズラ
真葛(サナカズラ)説も有り



2020年7月20日 仙川

たまかづら 玉葛

卷2-0101 大伴安麻呂:

玉葛
実成らぬ木には
ちはやぶる
神ぞつくといふ
ならぬ木といふ

現代名 ツユクサ 露草
薬用: 鴨跖草(解熱、腹薬)、
食用可



2020年7月22日撮影 曙公園

つきくさ 月草

卷4-0583 大伴坂上家乃大娘 :

月草の
うつろひやすく
思へかも
我が思ふ人の
言も告げ来ぬ

アジサイ 紫陽花
薬草で毒草 日本原産:



あぢさゐ 安治佐為

卷20-4448 橘諸兄 :

安治佐為の
八重咲く如く
弥(や)つ代にき
いませわが背子
見つつ思(し)の(ば)ぬ

2020年7月23日撮影 玉川上水周辺

タチアオイ 立葵、説あり

あふひ 葵

卷16-3834 作者不詳：

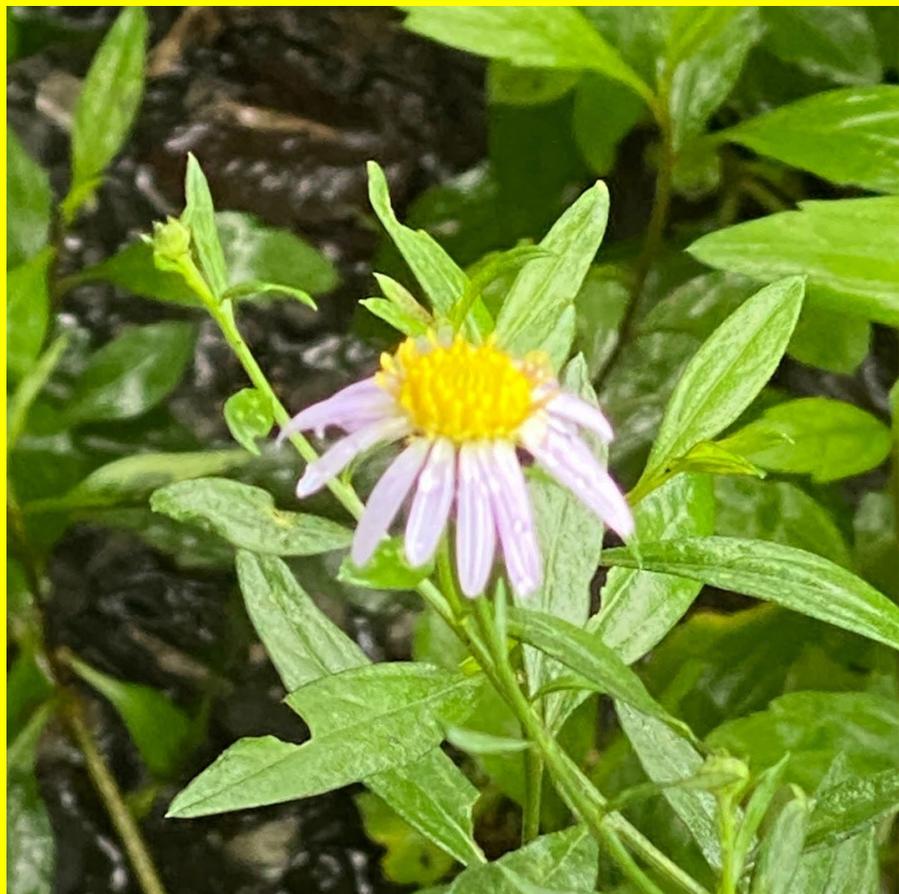


2020年7月23日撮影 上水曙橋付近

梨棗(なつめ)
黍(きみ)に粟(あは)
延(は)ふ葛の
後(のち)も逢(あ)はむと
葵(あふひ)花(はな)咲(さ)く

現代名 ヨメナ(カントウヨメナ)
嫁菜

うはぎ 菟芽
卷10-1879



2020年7月23日撮影 梶野橋付近

春日野に
煙(けぶり)立つ見ゆ
娘子(をとめ)らし
春野のうはぎ
摘みて煮らしも

ヘクソカズラ 屁糞葛:



2020年7月23日撮影 玉川上水周辺

くそかづら 屎葛

万葉集 卷16-3855 高宮王 :

さうけふに
はひおおとれる
屎葛
絶ゆることなく
みやづかへせむ

ヌルデ 白謬木 説有

かづのき 可頭乃木

万葉集 卷14-3432 東歌(相模)



足柄の
わを可鶏山の
可頭乃木の
我をかづさねも
かづさかずとも

2020年7月23日撮影 玉川上水土手

ヤエムグラ 八重葎/
カナムグラ 鉄葎



むぐら 年具良

卷19-4270 橘諸兄 :

年具良延ふ
癒しき宿も
大君の
座さむと知らば
玉敷かましき

2020年7月23日撮影 玉川上水周辺

カラムシ 桌
万葉集時代は
繊維の材料



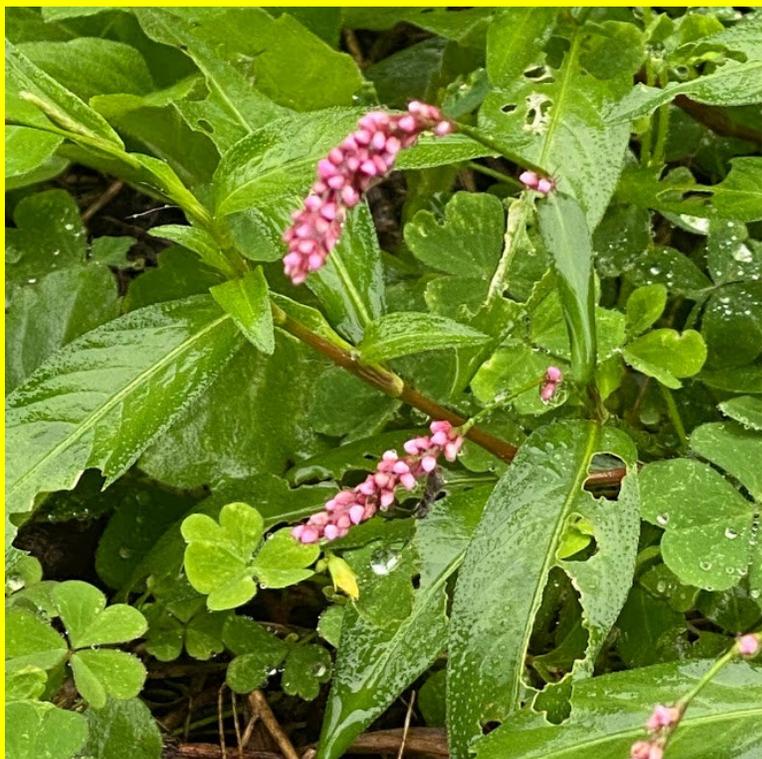
むし蒸

卷4-0524 藤原麻呂：

蒸ぶすま
なごやが下に
伏せれども
妹とし寝ねば
肌し寒しも

2020年7月23日撮影 玉川上水土手

現代名 イヌタデイヌ 犬蓼
イヌ:役に立たないの意



2020年7月23日撮影 上水新橋周辺

たて 蓼

卷16-3842 平群朝臣:

童ども
草はな刈りそ
八穂蓼を
穂積の朝臣が
腋草を刈れ

現代名 イヌヒエ 稗
稗の原種



2020年7月23日 玉川上水周辺

ひえ 稗

万葉集 卷11-2476 作者不詳：

打つ田には
稗はしあまた
ありといへど
選(えら)えし我れ
ぞ
夜をひとり寝る

現代表記 ナデシコ 撫子
撫でし子の意 秋の七草

なでしこ 那泥之古

卷8-1538 山上憶良



萩の花
尾花葛花
なでしこの花
をみなへし
また藤袴
朝顔の花

2020年7月23日 梶野橋付近

タブノキ 榊の木

丸木舟の材用のひとつ



つまま 都萬麻

万葉集 卷19-4159 大伴家持：

磯の上の
都萬麻を見れば
根を延(の)へて
年深かりし
神さびにけり

2020年7月25日撮影 桜堤遊歩道

現代名 スベリヒユ、説有り
食用可



2020年7月29日 あけぼの公園

いわるづら伊波為都良

卷14-3378 武蔵国東歌 作者不明

入間道(いりまぢ)の
於保屋(おほや)が原
のを
伊波為都良(いわる
づら)
引かばぬるぬる
我(わ)にな絶えそね

現代名 コウゾ 楮



2020年7月30日 玉川上水曙橋付近

たへ 妙, たく、ゆふ

卷1-28 持統天皇

春過ぎて
夏来るらし
白妙の
衣干したり
天の香具山

女帝
読み方はいくつか有り
百人一首の2首目

マユミ 真弓

弓の材料



まゆみ 真弓

万葉集 卷2-096 久米禅師 :

みこも刈る
信濃の真弓
わが引かば
貴人(うまひと)
さびて
否と言はむかも

2020年7月30日撮影 玉川上水土手

檜 ヒノキ

ひ 松

卷7-1118 柿本人麿 :



いにしへに
ありけむ人も
我が如(ごと)か
三輪松原に
かざし折りけむ

2020年8月1日撮影 桜堤遊歩道

現代名 シノダケ



2019年8月4日撮影 梶野橋周辺

しの 小竹

巻1-0045 柿本人麻呂 :

(長歌)

やすみしし

我がおおきみ

高照らす

：

小竹(しの)を押しなべ

草枕

旅宿りせず

いにしへ思ひて

現代名 竹類



2020年8月4日撮影 玉川上水土手

たけ **竹**、多毛、太気真竹

万葉集 卷9-1677 作者不詳 :

大和には
聞こえも行くか
大我野の
竹葉刈り敷き
廬り(いおり)(せりとは

現代名 無し
サクラの皮 桜の皮

万葉名 かには **櫻皮**

卷6-3432 山部赤人



(長歌)

あぢさはふ

妹が目離(か)れて

敷~~新~~(しきた)の

枕もまかず

櫻皮(かには) **巻き**

：

現代名 ネムノキ
合歡木 花期は夏



2023年11月2日 上水関野橋東側

ねぶ **合歡**

卷8-1461 紀 郎女

昼は咲き

夜は恋寝(ぬ)る

合歡の花

君のみ見ぬや

戯奴(わけ)さへに見よ

現代名 センダン 梅檀

薬草 日本原産



2023年12月7日 桜堤公園付近

あふち 安布知 棟:

万葉集 卷17-3910 大伴書持:

玉に貫(ぬ)く
安布知(あふち)を家に
植(う)えたらば
山(やま)霍(くわ)公(こう)鳥(とり)(ほととぎす)
離(か)れず来(き)むかも

4. 秋の万葉植物(旧暦7月-9月)

現代名 クヌギ 栲



つるばみ 椽

万葉集 卷18-4109 大伴家持：

紅（くれない）は
移ろふものそ
椽（つるばみ）の
濡れにし衣に
なほ及（し）かめやも

2020年7月31日撮影 上水くぬぎ橋

現代名 クズ 葛

くず 葛

万葉集 卷14-3422 作者不明：



くろほ || 赤城山

かみつけの
くろほの峰(ね)ろの
葛葉がた
愛(かな)しけ子らに
いや離(ざか)り来る

2020年8月20日撮影 玉川上水土手

ヤマノイモ 山野芋

ところ 冬薯蕷

卷7-1133 作者不詳：

皇祖神

(すめろき)の

神の宮人

冬薯蕷(づら)

いやとこしくに

我れかへり見む



2020年9月10日撮影 上水くぬぎ橋付近

ニラ 菰

きはつく は茨城真壁郡説



2020年9月17日 玉川上水土手

くく「み」ら 菰

卷14-3444 作者不詳 東歌

きはつくの
岡の菰
我れ摘めど
籠(こ)にも満たなふ
背なと摘まさね

ハギ 萩

集中最多出現



萩と園芸種あり
葉集で最多出現141～142首

はぎ 萩

巻10-2125 作者未詳

春日野の
萩は散りなば
朝東風(こち)の
風にたぐひて
ここに散り来(こ)ぬ

2020年9月21日 上水平右衛門橋付近

ヒガンバナ 彼岸花説有り
別名 曼珠沙華
毒草 中国原産 史前渡来説



いちし 壺師

万葉集 卷11-2480 柿本人麻呂：

道の辺の
壺師の花の
いちしろく
人皆知りぬ
我が恋妻は

2020年9月21日撮影 玉川上水土手

現代名 イタドリ 疼取 説あり
世界の侵略的外来種ワースト
100



2020年9月21日撮影 玉川上水土手

いちし 壺師

卷11-2480 柿本人麿：

道の辺の
壺師の花の
いちしろく
人皆知りぬ
我が恋い妻は

ススキ 薄

をばな 尾花

卷8-1564 日置長枝娘子 :



秋づけば
尾花が上に
置く露の
消(け)ぬべく我は
思ほゆるかも

2020年9月22日撮影 玉川上水周辺

現代 屋根ふきの植物一般
画像はススキ(代表的な萱)



2020年9月22日撮影 玉川上水周辺

かや 萱

万葉集 卷16-3887 作者不詳

天なるや
神楽良の小野に
萱草刈り
草刈りばかに
鶉を立つも

現代名 エノキ 榎

え 榎

卷16-3872 作者未詳：

我が門の

榎(え)の実もり

食(は)む

百千鳥(ももちど

り)

千鳥は来れど

君そ来まさむ



2020年10月5日撮影 曙橋付近

ヒメユリ 姫百合

ひめゆり 姫由理

巻:8-1500 坂上郎女(さかのうえの
いらつらめ):



夏の野の
茂みに咲ける
姫由理の
知らえぬ恋は
苦しきものぞ

2021年10月9日撮影 曙橋付近

フヨウ 芙蓉 説あり
日本中国



はねず 朱華

万葉集 卷11-2780 作者不詳：

山吹の
にほへる妹が
朱華色の
赤裳(あかも)姿
夢に見えつつ

2021年10月9日撮影 曙橋付近

フジ 藤

ふぢ 藤

18-4042 田辺福(さき)麻呂



藤波の
咲き行く見れば
ほととぎす
鳴くづく時に
近づきにけり

2020年10月25日 上水北公園

ノブドウ 野葡萄
山ぶどうは別種



やまつづら 山葛

卷14-3434 作者不明：

上毛(かみつけ)野
安蘇山葛(つづら)
野を広み
延(は)ひにしものを
何(なぜ)か絶えなむ
(よみ 諸説あり
あそ・やまつづら／あ
そやま・つづら)

2020年10月29日 玉川上水曙橋付近

アカネ 茜

赤い根の意、染料、紫が赤みを帯びるから紫の枕詞



2023年11月1日 玉川上水曙橋付近

あかね 茜

卷1-0020 額田王

茜さす
紫野の行き
標野行き
野守は見ずや
君が袖振る

現代名 ツゲ 柘植



2023年11月1日撮影 くぬぎ橋付近

つげ 黄楊

卷9-1777 播磨娘子

君なくは

なぞ身(み)装(よそ)は

む

櫛笥(くしげ)なる

黄楊の小櫛(おぐし)も

取らむとも思はず

現代名 サトイモ 里芋



2020年11月4日撮影 小金井橋付近

うも 宇毛

卷10-1895 長忌寸意吉麻呂(ながのいみきおき
まる):

蓮(はちす)葉は
かくこそあるもの
意吉麻呂が
家なるものは
宇毛(うも)の葉に
あらし

マツ 松

まつ 松

卷2-0145 山上憶良：



鳥となり
あはれ呼びつ
見られども
人こそ知らね
松は知るらむ

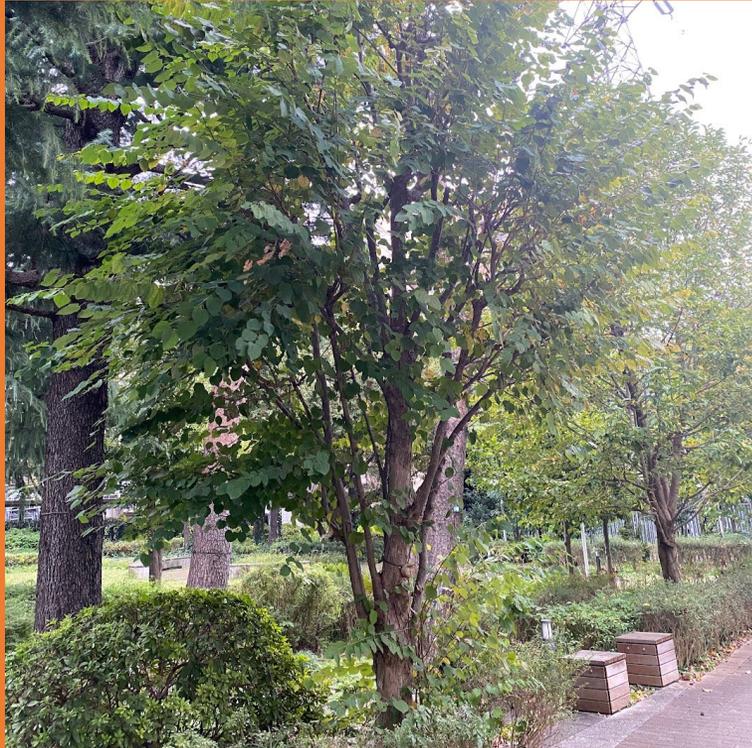
2020年11月4日撮影 小金井橋付近 御成の松跡

現代名 カツラ 桂

かつら 楓 加都良

中国の伝説:月の桂は高い理想➡月桂

巻10-2202 作者不詳:



黄葉する
時になるらし
月人の
楓(かつら)の枝の
色づく見れば

2023年11月6日撮影 桜堤防災公園付近

チカラシバ 力芝 (力芝を含む説あり)



2023年11月10日撮影 桜堤遊歩道

しばくさ 芝草

卷6-1048 田辺福麻呂 :

たち変わり
古き都と
なりぬれば
道の芝草
長く生ひにけり

ミカン科総称 説有り
クネンボ(室町時代伝来説有り)

あへたちばな **阿倍橘**

卷11-2750 作者不明:



我妹子(わぎもこ)に
逢はず久しも
うましもの
阿倍橘の
苔生すまでに

2023年11月10日撮影 桜堤遊歩道

ササ類

ササは神降ろしのための
聖なる植物



ささ 小竹

卷2-0133 柿本人麻呂

小竹(こたけ)の葉は
み山もさやに
さやげども
われは妹思ふ
別れ来ぬなば

2023年11月10日撮影 桜堤遊歩道

マテバシイ 馬刀葉椎
説有



2023年11月10日撮影 桜堤遊歩道

しい 推

卷7-1099 作者不明:

片岡の
この向つ峰に
推蒔かば
今年の夏の
陰にならむか

シラカシ 白檀



2023年11月10日 玉川上水士

しらかし 白檀

卷10-2315 柿本人麻呂歌集:

あしひきの
山道(ぢ)も知らず
白檀の
枝もとをきに
雪の降れば

現代 柑橘類



2023年11月10日 桜堤遊歩道

たちばな 橘

卷6-1009 聖武天皇

橘は

実さへ花さへ

その葉さへ

枝(え)に霜降れど

いや常葉の木

かじのき 説有

かづのき 可頭乃木

万葉集 卷14-3432 東歌(相模)



足柄の
わを可鶏山の
可頭乃木の
我をかづさねも
かづさかずとも

2023年11月12日撮影 新橋付近

フジバカマ 藤袴

秋の七草 薬草：蘭草



2023年11月16日 陣屋橋付近

ふじばかま 藤袴

卷8 - 1538 山上憶良

萩の花
尾花葛花
なでしこの花
をみなへし
また藤袴
朝顔の花

カシワ 柏

かしわ 柏

万葉集 卷7-1134 作者不詳



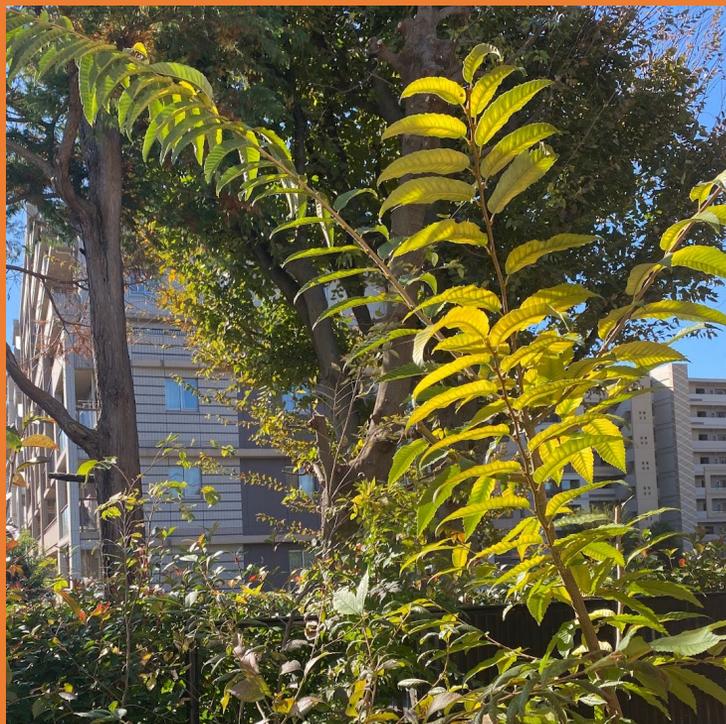
2023年11月17日撮影
グリーンパーク緑地(関前)

吉野川
巖と柏と
常盤なす
我は通わむ
万代(よろづよ)までに

くり 栗

くり 栗

卷9-1745 作者不詳:



2023年11月18日撮影 曙公園付近

三(みづ)栗の
那賀(なか)に向かへる
曝(さらし)井の
絶えず通はむ
そこに妻もが

オモダカ 説有り



2021.11.21 仙川緑地周辺

ゑぐ 恵具

卷11-2760 作者:不詳

君がため
あしひきの
山沢ゑぐを
摘みに行かむ
日だにも逢はせ
母は責むとも

現代名 スゲ類
この歌ではカサスゲ(傘菅)
画像はカヤツリグサの一種



2023年11月21日 仙川

すげ 菅

卷11-2836 作者未詳

三島菅(すげ)
いまだ苗にあり
時待たば
着ずやなりなむ
三島菅笠

現代名 スゲ類
画像はカヤツリグサの一種



2023年11月21日 仙川

すが 須我

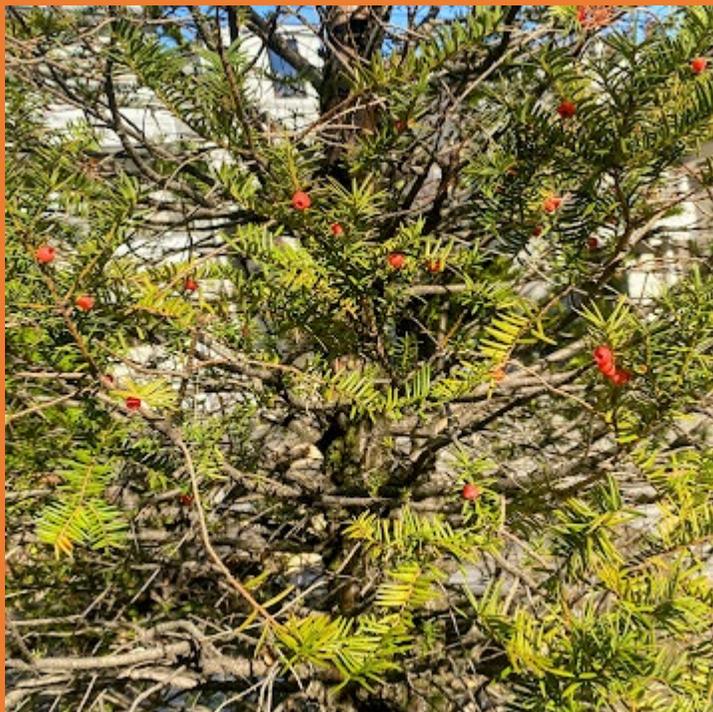
卷14-3352 作者未詳

信濃なる
須我の荒野(あらの)に
ほととぎす
鳴く声聞けば
時過ぎにけり
(信濃国歌)

現代名 イチイ 一位

イチイガシ説もあり、両種とも食用

仁徳天皇が一位を授けたことに由来
実は食用、ただし種、葉は有毒。弓の材料



いちひ 伊智比

巻16-3885 乞食者(ほかひ):

長歌

いとこ

汝背の君

：

この片山に

二つ立つ

伊智比(いちひ)が本に

：

現代名 イチヨウ 公孫樹
諸説あり



2023年11月29日 境橋付近

ちち 知智

万葉集 14-4164 大伴家持:

知智(ちち)の実の
父の命
ははそ葉の
母の命
おほらかに
心尽くして
思ふらむ

現代名 カエデ 楓



2021年12月3日撮影 曙公園

かへるで 蛙手

卷8-1623 田村大嬢：

我が宿に
もみつ蛙手
見るごとに
妹を懸けつつ
恋ひぬ日はなし

5. 冬の万葉植物(旧暦10月-12月)

ヤマボウシ 山法師



2023年11月1日撮影 あけぼの公園

つみ 柘

卷3-387 若宮年魚麻呂

いにしへに
築うつ人の
なかりせば
ここにもあらまし
柘の枝はも

ノギク 野菊 説あり
後方:しりへ



ももよぐさ 百代草

万葉集 卷20-4326 壬生部足国
(みぶのたりくに:現静岡掛川の防人) :

父母が
殿の後方の
百代草
百代いでませ
我(わ)が来るまで

2023年11月16日 玉川上水陣屋橋周辺

常緑松柏類の総称
画像はコノテガシワ 児の手柏

かへ:かわらないが語源、長寿、めでたい



かへ 栢

卷19-4169 大伴家持:

(長歌)

ほととぎす

きなへさしきい

...

松栢(かへ)乃

さかえいまさね

たふときあがきみ

現代名 ツタ一般 葛

つづら 都豆良

卷14-3434 作者不明:



2023年11月22日 桜堤

上毛野(かみつけ)の
阿蘇山(やま)都豆
良(つづら)
野を広み
延(は)ひにしものを
何(あぜ)か絶えせむ

カクレミノ 隠蓑

みつながしは 御綱葉

卷2-90の後記 作者不詳



…皇后紀伊国(きい
のくに)に遊行(いで
ま)して
熊野の岬に到りて
其処の御綱柏(みつな
がしは)を取りて
還(まゐるかへ)る…

2023年11月22日 桜堤公園付近

コノテガシワ 兎の手柏

このてがしは **兎手柏**

卷16-3836 消奈行文(せなのぎょうもん):



2023年11月22日 桜堤公園

奈良山の
兎手柏(このてがし
は)の
両面(ふたおも)に
かにもかくにも
佞人(こびびと)の伴

ヤマウルシ 山漆

説有り



はじ 波自

巻20-4465 集中1首だけ

（長歌）
久方の
天の門開き
波自弓を

2023年11月29日 上水くぬぎ橋東側

現代名 シバ 芝

雑木説も有り



2023年11月29撮影 境橋

しば 之波

卷14-3573 東歌 作者不詳

あしひきの
山かづらかけ
ま之波にも
得がたきかけを
置きや枯らさむ

サカキ 榊



2023年12月7日撮影 桜堤団地
写真はヒサカキ

さかき 賢木

卷3-0379 坂上郎女 :

(長歌)
ひさかたの
天の原より
生れ来る(あれきた
る)
神の命(みこと)奥山の
賢木の枝に
しらか付け
木綿(ゆふ)とりつけて
いはひくき。。。。

ミツマタ 三又



2023年12月7日撮影 桜堤団地中央公園

さきくさ 三枝

卷10-1895 柿本人麻呂

春されば
まづ三枝の
幸(さき)くあらば
後(のち)にも逢わむ
な恋ひそ我妹(われ
ぎも)

現代名 アケビ 木通
説有り



2023.12.12 梶野橋付近

さのかた 狭野方

巻10-1929 作者不明

狭野方は
実になりしき
今さらに
春雨降りて
花咲かめやも

現代名 ヤブコウジ 藪柑子 やまたらばな 山橘

卷19-4226 大伴家持



この雪の
消(け)残る時に
いざ行かな
山橘の
実の照るも見む

2023年12月12日撮影 玉川上水梶野橋周辺

現代名 スギ・ヒノキ類、榎
画像はヒノキとイヌマキ

真の木の意、神聖視された



ヒノキ 2020年7月23日 玉川上水周辺

イヌマキ 2023年12月22日 山中南公園

まき 真木

巻3-0190 舎人(下級役人):

真木柱
大き心は
ありしかど
この我が心
鎮めかねつも

現代名:ケヤキ 欒
画像はムサシノケヤキ



2023年12月23日撮影 もみじ橋

つき 槻

万葉集 卷3-0277 高市黒人:

遠(と)く来ても
見てましものを
山城の
高の槻群
散りにけるかも

現代名 カラタチ 枳殻

原産地 長江流域

名前:外国のたちばな(柑橘類)
に由来、この一首だけ



2023年12月26日 曙公園付近

からたち 枳

卷17-3832 大忌部首(いむべのおびと):

枳と

茨(うばら)刈り除

け

倉建てむ

屎遠くまれ

櫛造る刀自(とじ)

現代名 モミ

万葉表記 おみ 臣木

日本特産

卷3—322 山部赤人



すめろきの
：
匠の木も
：
生ひ継ぎにけり

2023年12月27日 吉祥寺通り

地図 ©2023 Google

現代名 ヤナギ 柳

川べり



2024年1月5日 吉祥寺
大通り (柳橋にもあった)

やなぎ 柳

10-1846 作者不明

霜枯れの
冬の耶馬儀は
見る人の
かづらにすべく
萌えにけるかも

地図 ©2023 Google

現代名 ノキシノブ 軒忍

しだくさ 子太草

卷11-2475 柿本人麻呂歌集



我が宿の
軒に子太草
生いたれど
恋忘れ草
見れどいまだ
生いず

2022年2月21日 撮影 桜堤公園

画像探索中)

•5種

•他に水草 数種

地図 ©2023 Google

スギ 杉

現在は日本固有種

画像探索中、
以前はスギ林が
あった。

すぎ 杉

万葉集 卷10-1814 柿本人麻呂：

いにしへの
人の植ゑけむ
杉が枝(え)に
霞たなびく
春は来(き)ぬらし

現代名 ネコヤナギ 猫柳

かはや(な)ぎ 河楊

川べり

巻10—1848 作者不明

画像探索中、
以前周辺で見か
けた

他に、ネジバナ、ケイトウ、
ベニハナなど画像準備中、
時季に周辺で見かける

山の際に
雪は降りつ
しかすがに
この河楊(やぎ)
は
萌えにけるかも

地図 ©2023 Google

現代名 ベニハナ

紅の染料、花は黄色

画像探索中、
以前周辺で見か
けた

ベニハナ

くれない 紅

巻6-1044 作者不明

紅に
深く染みにし
心かも
奈良の都に
年の経ぬべき

地図 ©2023 Google

現代名 ケイトウ 鶏頭 説
有り

万葉表記 からあい 韓藍

3-384 山部赤人

画像探索中、
以前周辺で見か
けた

ケイトウ

我がやどに
韓藍蒔き生し
枯れぬれど
懲りずてまた
も
蒔かむとぞ思ふ

地図 ©2023 Google

6. 終わりに

植物の**色形**と**香り**、風にそよぐ**音**と**動き**の**リズム**は万葉時代と同じです。

この冊子で植物の**色形**と**歌**を見比べて、
伝統的な感覚が少し蘇ったと思います。
実際に散策して、漂う**香り**と風にそよぐ
動きや**音**で更に深い感覚を蘇らせましょう♥

